

平成
22年度

福祉一行詩コンクール 入賞作品

「福祉」をテーマにした一行詩の募集に、たくさんの方の応募をいただきありがとうございました。応募総数505点の中から入賞した作品を紹介します。



できないことがあってもいいんだよ
足りないことがあってもいいんだよ
かけがえのない一つの命なんだから

笠原小学校 5年 ^{おおいわ こうへい}
大岩 滉平さん



朝・夕の ご様子そお〜と
見守りますね。

隣りのお元氣、私の安心！

一般 ^{い さ し ゆき え}
伊佐治 幸枝さん

小学校の部

入選

あゆちゃんは、生まれた時に、左手の力を、
わすれてきちゃいました。でも、だれよりも、
やさしい心を神様に、プレゼントしてもらいました。

笠原小学校 5年 ^{てと}
手戸 いづみさん

見て見ぬふりより、声をかける勇氣、手をさし出す勇氣、
自然とできる世の中でありたい。

笠原小学校 5年 ^{かとう しゅんや}
加藤 駿弥さん

ボランティア いつもおうだん 見守ってくれて
ありがとう。

脇之島小学校 4年 ^{すずき しげひと}
鈴木 薫仁さん

介護タクシーの運転手さん お年よりの手をひいて
乗せたりおろしたり安心だね。

昭和小学校 6年 ^{ながや みらい}
長屋 弥来さん

佳作

ぼくたちがちいさいとき助けてもらい
大きくなったらぼくたちが助ける番。

昭和小学校 4年 ^{はぎのや ゆう}
萩野谷 悠さん

おばあちゃん 笑った時の やさしいえくぼ
やさしい目 私にわけてくれませんか。

笠原小学校 6年 ^{みどり ゆうか}
見鳥 友香さん

「おはようございます」「ありがとう」
みんながえ顔になれる ま法の一言

脇之島小学校 4年 ^{たなか しほ}
田中 志歩さん

知らない人にしんせつにするのはむずかしいけれど
しんせつなことができた時 いつもよりうれしくなる。

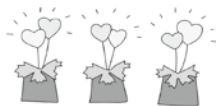
昭和小学校 5年 ^{たかはし みな}
高橋 美奈さん

電車のイスをかわった時 私はニッコリ笑った
おばあさんもニッコリ笑ってくれた

根本小学校 6年 ^{いけだ きあら}
池田 季亜蘭さん

おじいちゃんがぐつをはくとき、
そっとかたをかしてあげた。

昭和小学校 6年 ^{はっとり げんろく}
服部 玄陸さん



中学校の部

入選

「世界の命を助けられるのに…」
ゴミ箱でつぶやくキャップがいる。

多治見中学校 1年 ^{せんだ なおの}
千田 菜乃葉さん

私は、お金や高価なものじゃなく
やさしい気持ちとほんの少しの勇氣を持ち続けていたい。

北陵中学校 1年 ^{こんどう ななみ}
近藤 菜々美さん

佳作

おばあちゃんと電話するときは、二倍の声で話す。
優しい笑い声が、二倍になって返ってくる。

多治見中学校 1年 ^{あらい りか}
荒井 梨花さん

曲がりそうな心…。助けよう、僕たちの言葉で。

多治見中学校 1年 ^{おぎぞ かずき}
小木曾 和希さん

おばあちゃんの笑顔に 何度助けられただろう…
ありがとう。今度は私が

小泉中学校 3年 ^{わたなべ せり}
渡辺 世理さん

高校・一般の部

入選

地域のきずな 地域のつきあい 人のやさしさ
大切ですよ あなたには

一般 ^{はらだ いさお}
原田 勇夫さん

「どうぞ」「ありがとう」さし出した手、つかんだ手、
そのぬくもりが二人の心を暖かくする。

一般 ^{はせがわ さとし}
長谷川 哲さん

佳作

あいさつ・笑顔・人助け、小さな言葉・小さな行いが
人と人の間に大きな大きなつながりをもたらす

一般 ^{わたなべ けんじ}
渡辺 健次さん

ありがとう 今日は何回言ったかな 人にやさしく
感謝の気持を忘れずに 口に出して言おう。

一般 ^{みやけ みおこ}
三宅 美緒子さん

ただいま 大きな声の孫 負けじとおかえりと私
笑顔でかわす一言 今日でもあしたもあさっても

一般 ^{みずの いくこ}
水野 育子さん